

九重山

概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は 800m(5月:600m)で、特に異常は認められませんでした(図1、図2)。

地震・微動活動の状況

地震の月回数は 32 回(5月:29回)でした。このうち、11 個の地震の震源が求まり、主に久住山の北西 5 ~ 8 km(図3)で、火山活動には直接関係ないものと思われます。

火山性微動の発生はありませんでした。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、坊ガツル - 牧ノ戸峠の各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図4)。

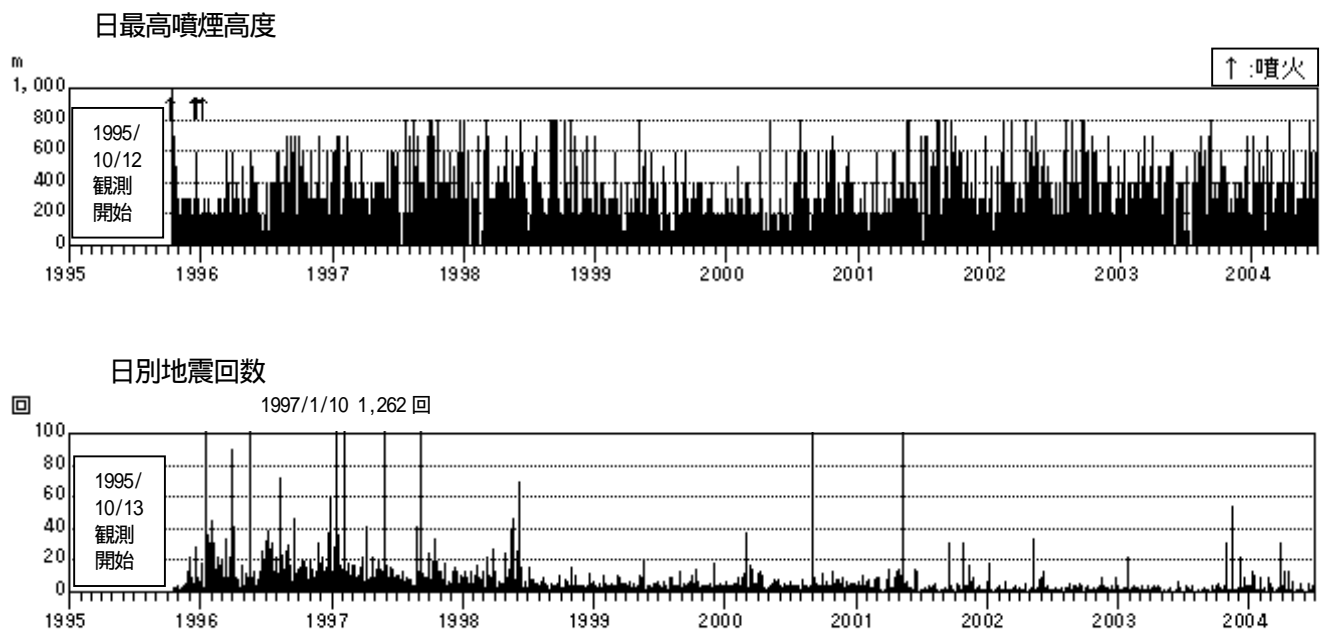


図1 火山活動経過図(1995年10月12日~2004年6月30日)

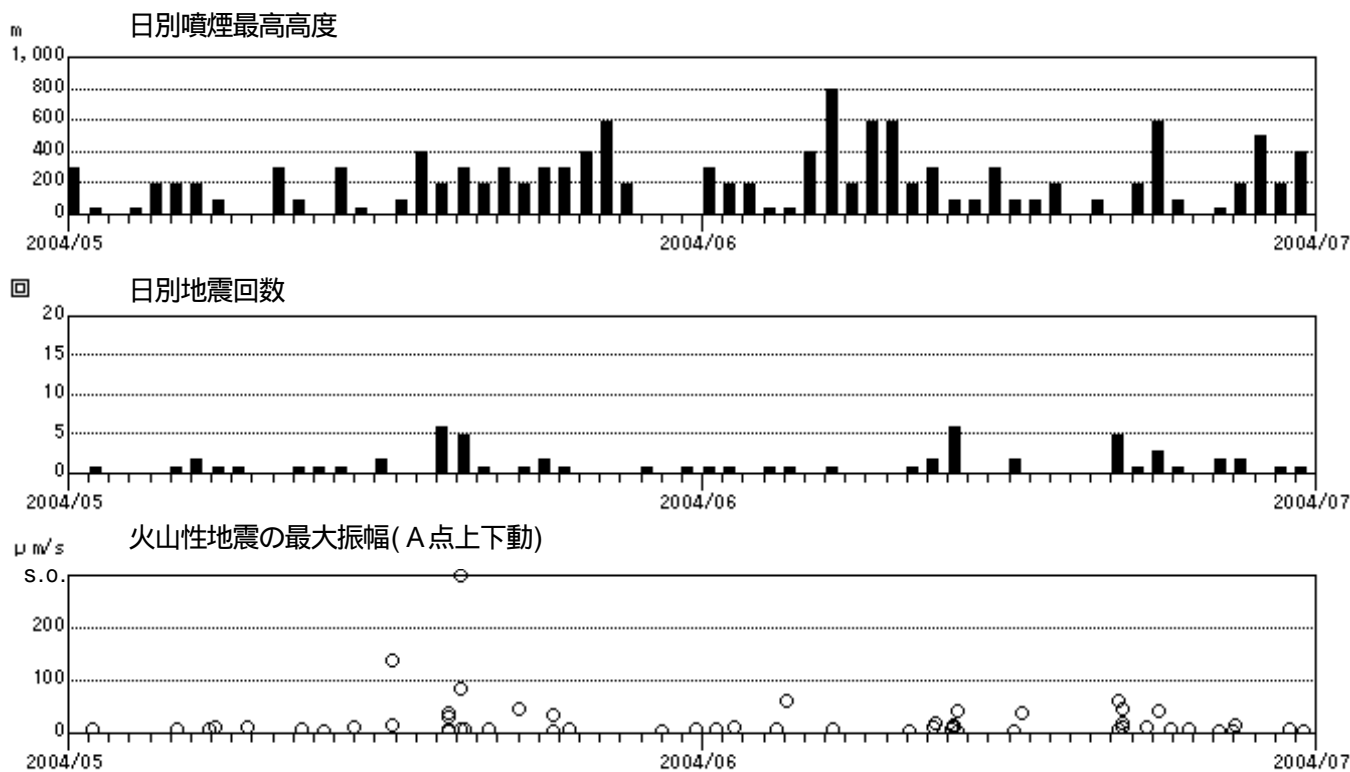


図2 火山活動経過図(2004年5月1日～6月30日)

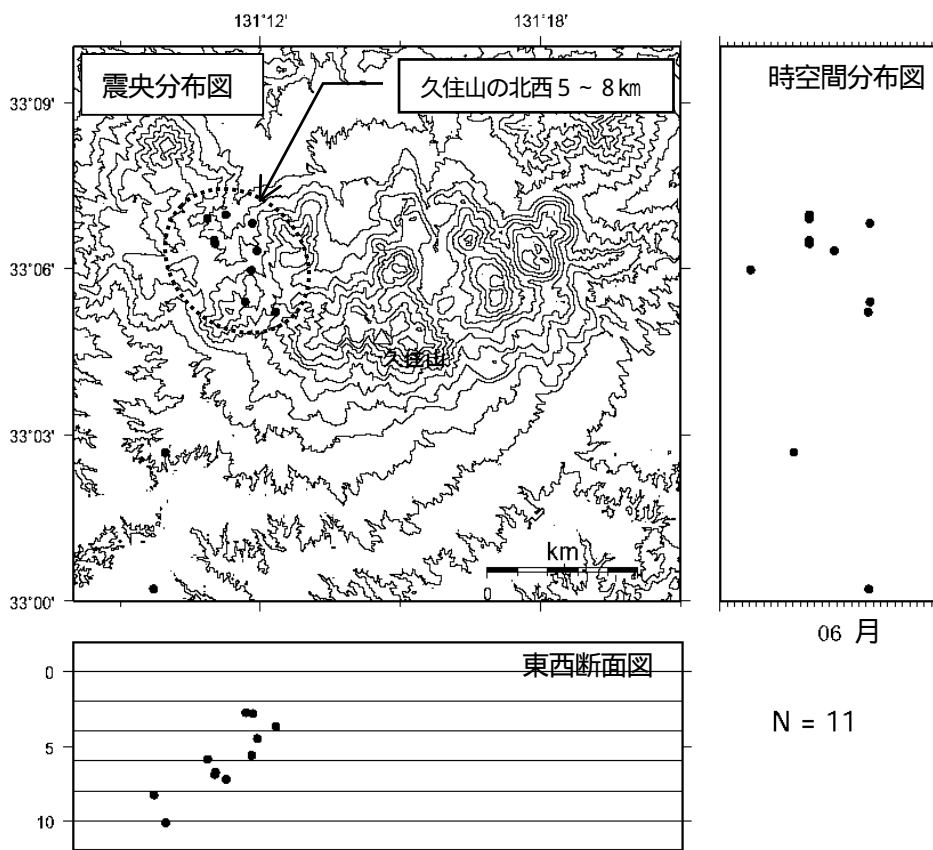


図3 火山性地震の震央分布図と東西断面図、時空間分布図(2004年6月1～30日)
(本資料は、独立行政法人防災科学技術研究所、気象庁のデータを用いて作成している。)

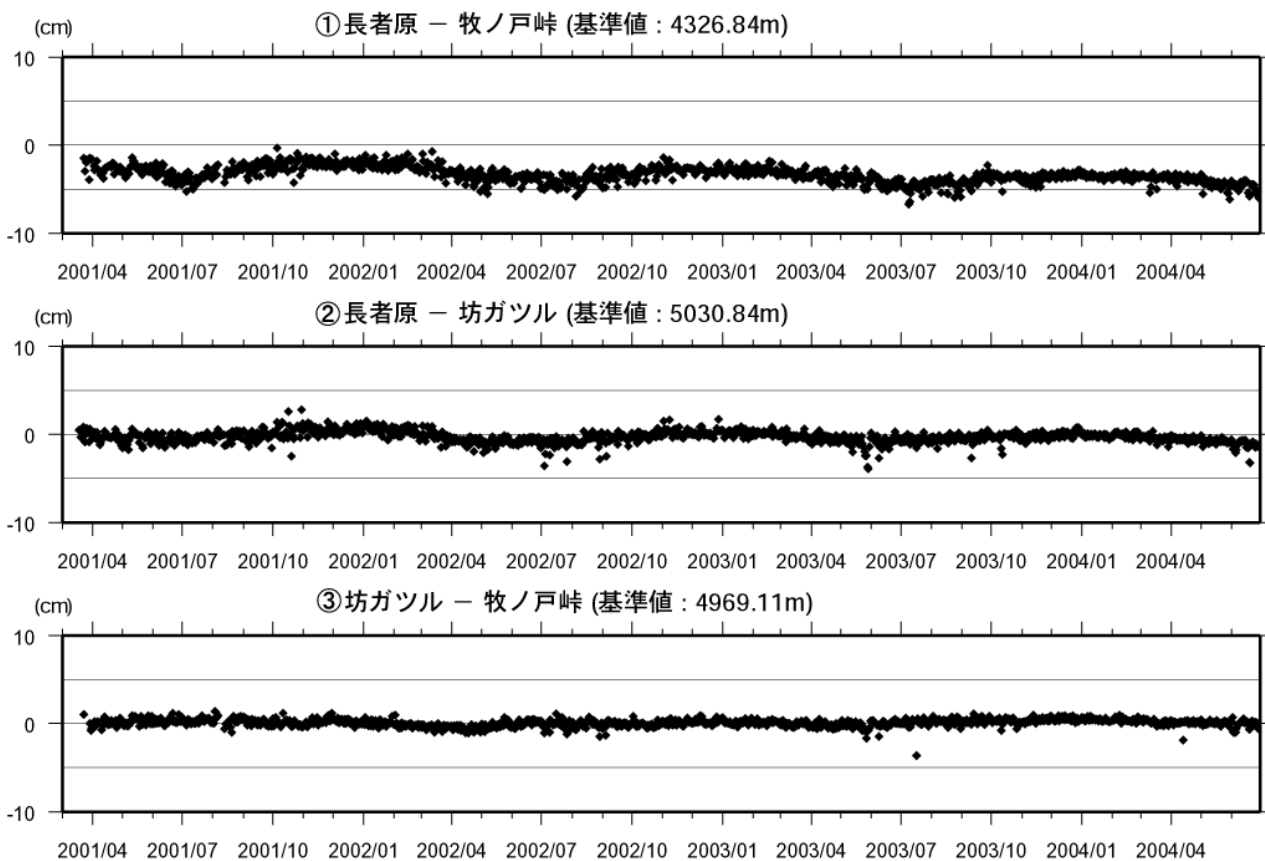
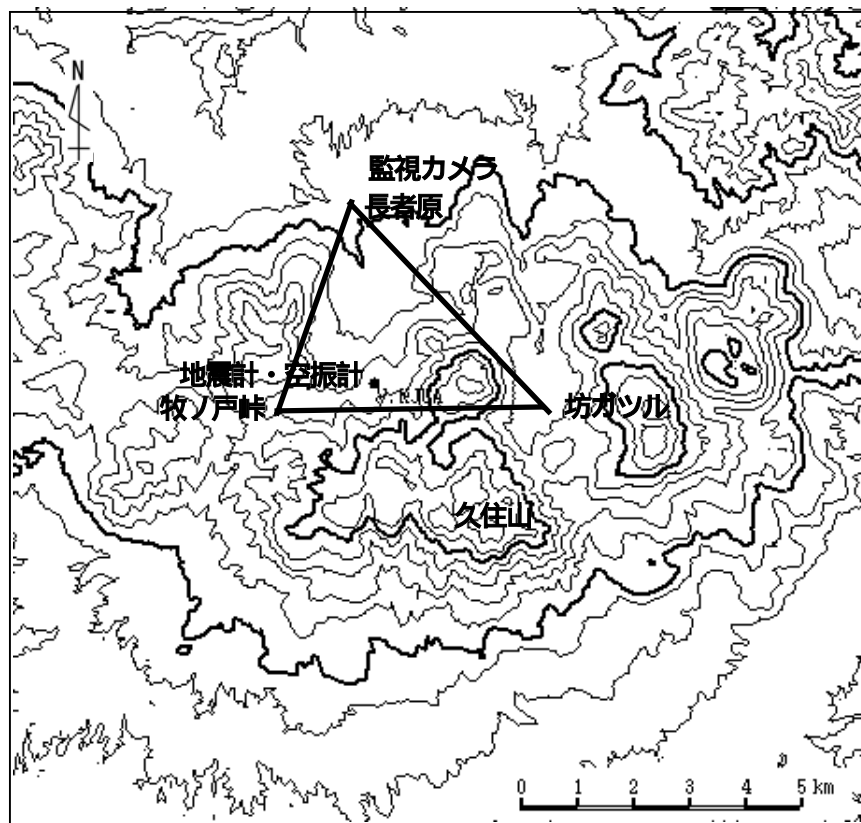


図4 GPSによる基線長変化図(2001年3月22日~2004年6月30日)



気象庁観測点
監視カメラ 1点(長者原)
地震計 1点()
空振計 1点()
GPS 3点()

図5 観測点位置図